

豊川市高齢者福祉計画策定における  
介護支援専門員調査結果報告書

令和5年8月  
豊川市

## 目次

I . 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査対象 .....	1
3. 調査期間 .....	1
4. 調査方法 .....	1
5. 回収状況 .....	1
6. 調査結果の表示方法 .....	1
II . 調査結果 .....	2
1. あなたの年齢や性別、勤務形態などについて .....	2
2. 高齢者相談センターについて .....	5
3. 医療との連携について .....	7
4. 高齢者虐待について .....	10
5. 介護保険及び高齢者福祉施策全般について .....	14

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、豊川市高齢者福祉計画の策定にあたり、介護支援専門員の現状・課題や医療との連携状況等を把握し、策定の資料とするために実施しました。

### 2. 調査対象

市内居宅介護支援事業所、介護老人福祉施設等に勤務する介護支援専門員

### 3. 調査期間

令和5年7月18日から7月31日

### 4. 回収状況

介護支援専門員数(人)	有効回収数	有効回収率
集計中	183	集計中

### 5. 調査結果の表示方法

回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

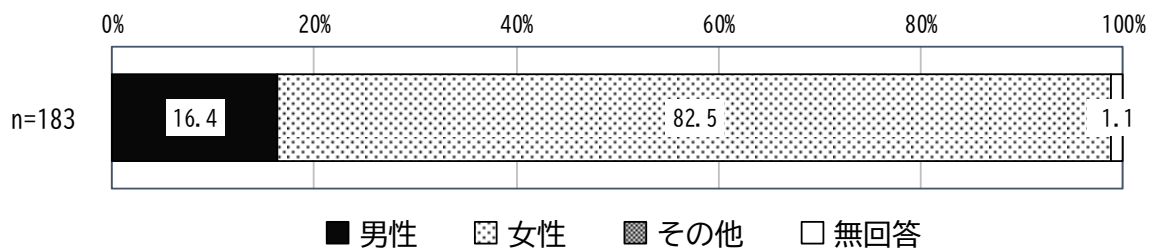
複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

## Ⅱ. 調査結果

### 1. あなたの年齢や性別、勤務形態などについて

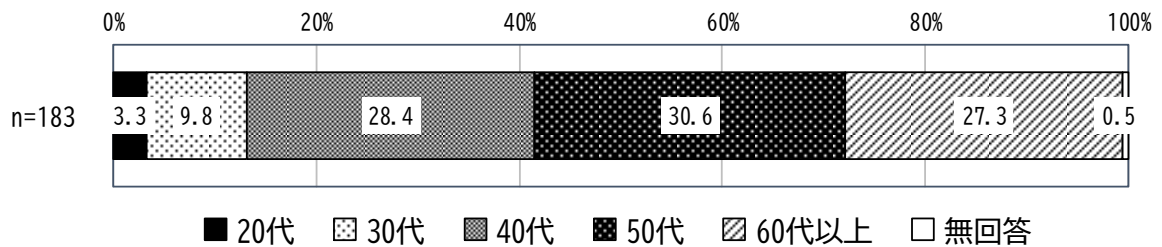
問1 あなたの性別・年齢についてお答えください。

#### ① 性別



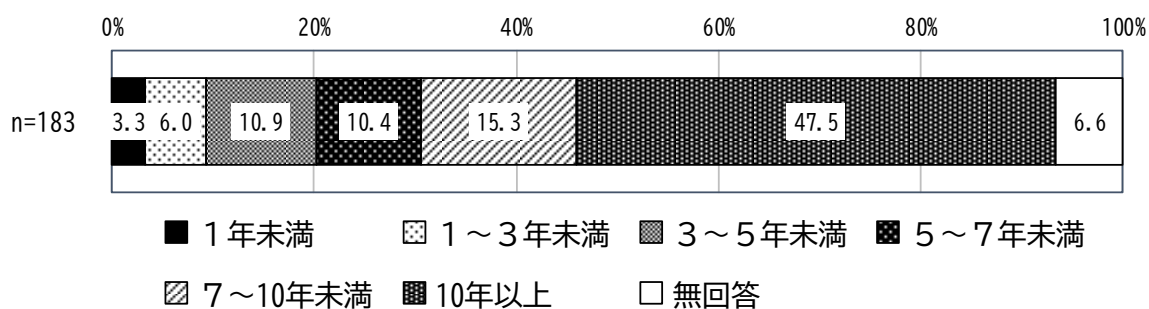
「女性」と回答した人が 82.5%、「男性」と回答した人が 16.4%となっています。

#### ② 年齢



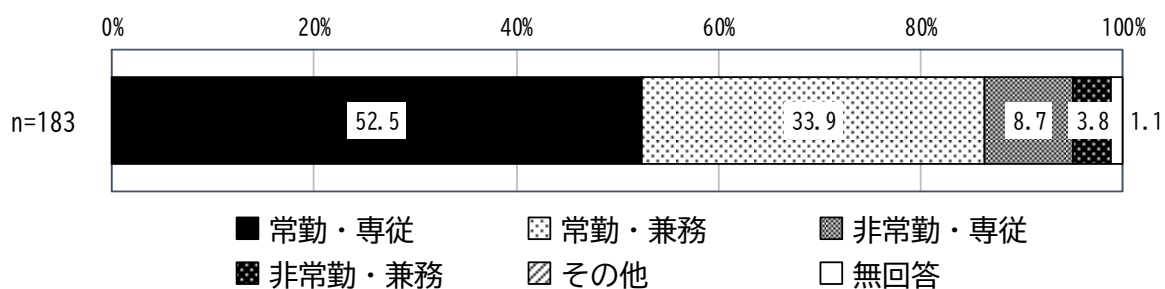
「50代」と回答した人が 30.6%と最も多く、次いで「40代」が 28.4%、「60代以上」が 27.3%となっています。

問2 介護支援専門員としての経験年数は通算何年ですか。(令和5年7月1日現在)



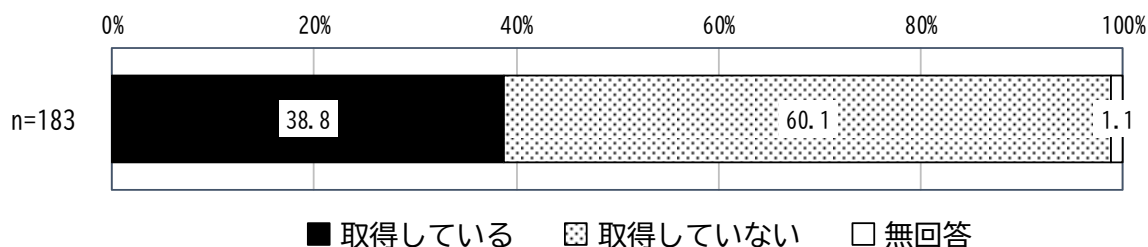
「10年以上」と回答した人が47.5%と最も多く、次いで「7～10年未満」が15.3%、「3～5年未満」が10.9%となっています。

問3 あなたの勤務形態は次のうちどれに該当しますか。(○は1つ)



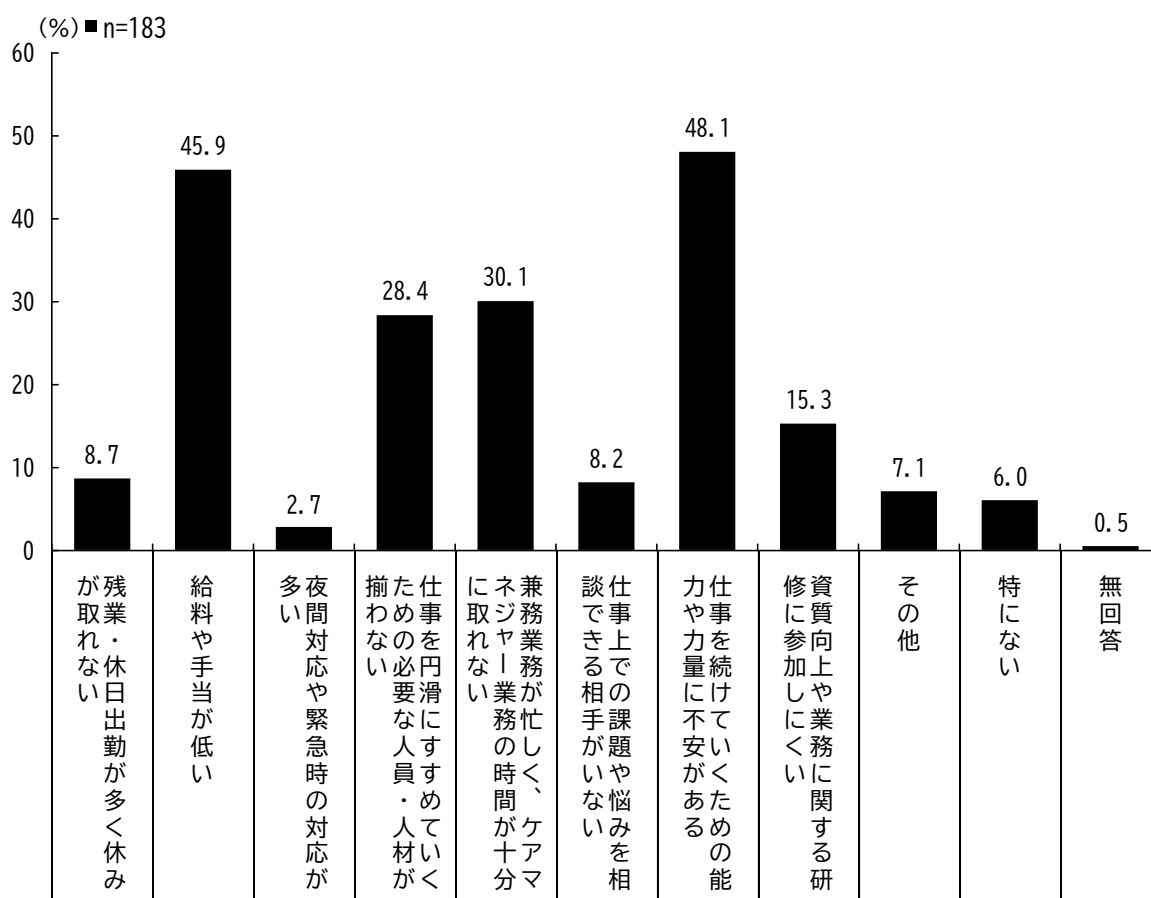
「常勤・専従」と回答した人が52.5%と最も多く、次いで「常勤・兼務」が33.9%、「非常勤・専従」が8.7%となっています。

問4 あなたは主任介護支援専門員の資格を取得していますか。(○は1つ)



「取得している」と回答した人が 38.8%、「取得していない」と回答した人が 60.1%となっています。

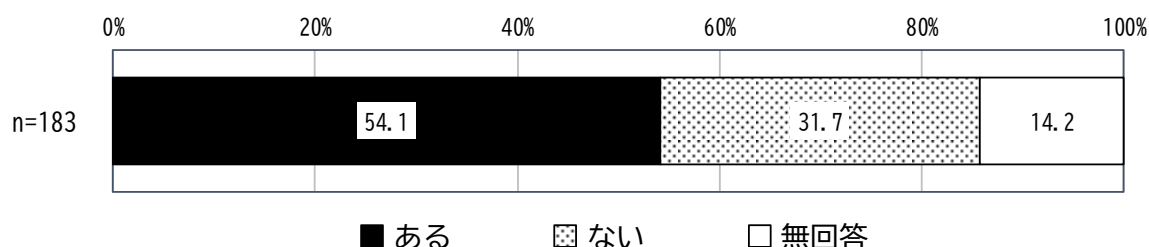
問5 あなたの勤務上の悩みや困り事について教えてください。(○は3つまで)



「仕事が続いていくための能力や力量に不安がある」と回答した人が 48.1%と最も多く、次いで「給料や手当が低い」が 45.9%、「兼務業務が忙しく、ケアマネジャー業務の時間が十分に取れない」が 30.1%となっています。

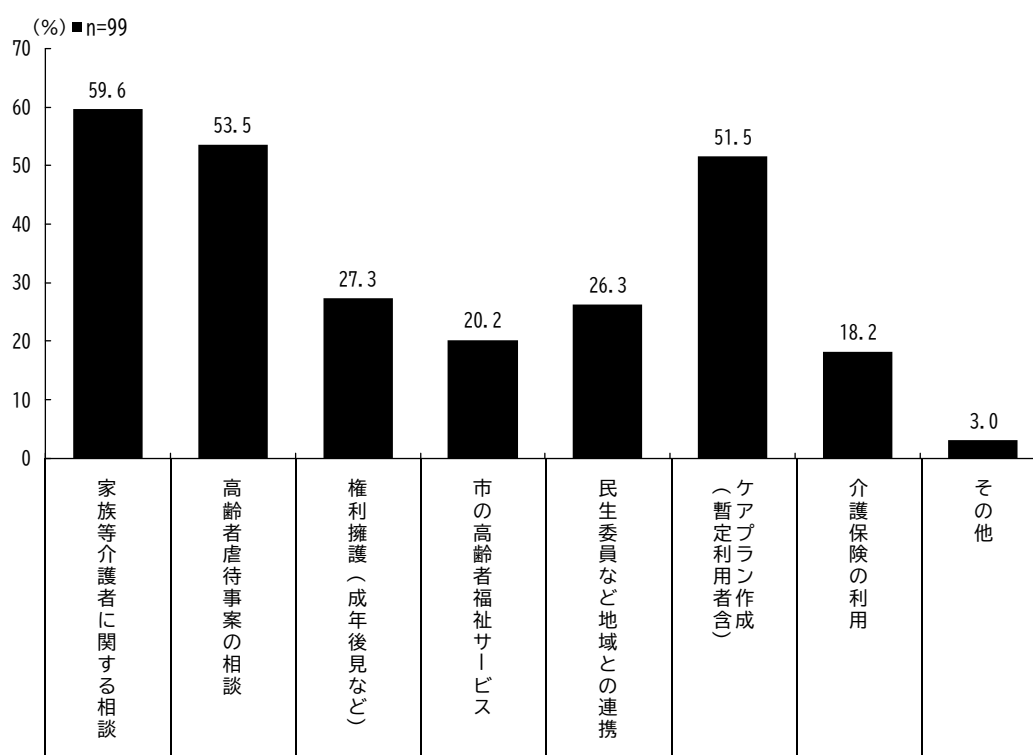
## 2. 福祉相談センターについて

問6 あなたは、地域包括支援センター(福祉相談センター)に相談をしたことがありますか。(○は1つ)



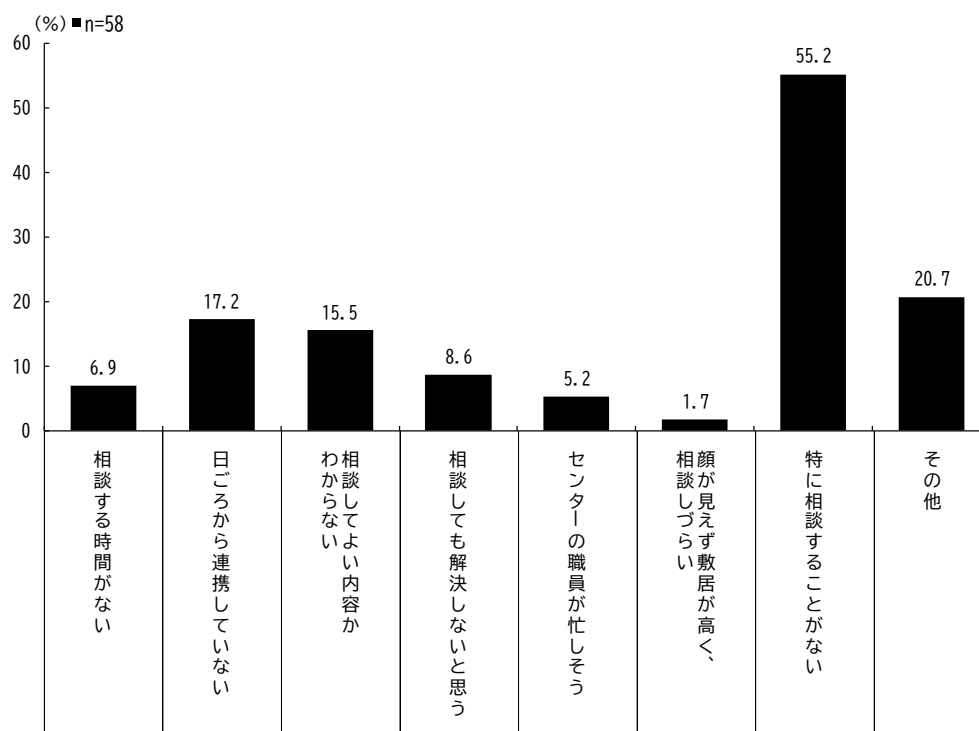
「ある」と回答した人が 54.1%、「ない」と回答した人が 31.7%となっています。

問6-1 どのような内容で相談をしましたか。(○はいくつでも)  
(※問6で「ある」と回答した人)



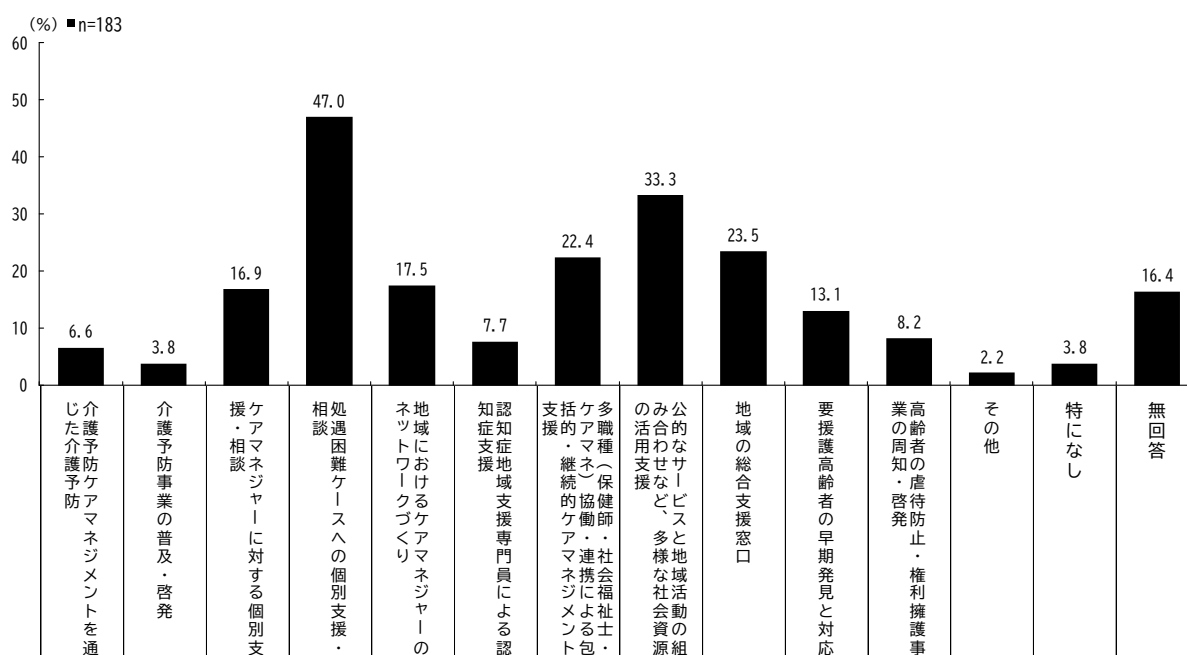
「家族等介護者に関する相談」と回答した人が 59.6%と最も多く、次いで「高齢者虐待事案の相談」が 53.5%、「ケアプラン作成」が 51.5%となっています。

問6-2 相談しないのはなぜですか。(○は3つまで)  
(※問6で「ない」と回答した人)



「特に相談することがない」と回答した人が 55.2%と最も多く、次いで「日ごろから連携していない」が 17.2%、「相談してよい内容かわからない」が 15.5%となっています。

問7 地域包括支援センター(福祉相談センター)に、特に期待することはどのようなことですか。(○は3つまで)

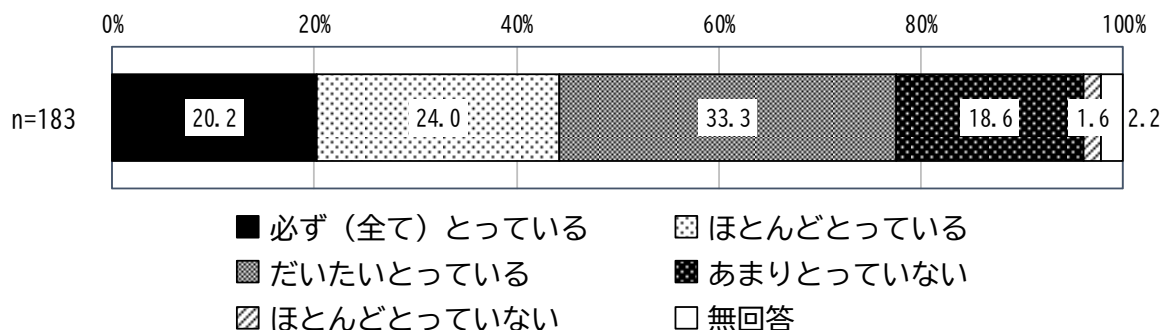


「処遇困難ケースへの個別支援・相談」と回答した人が 47.0%と最も多く、次いで「公的なサービスと地域活動の組み合わせなど、多様な社会資源の活用支援」が 33.3%、「地域の総合支援窓口」が 23.5%となっています。



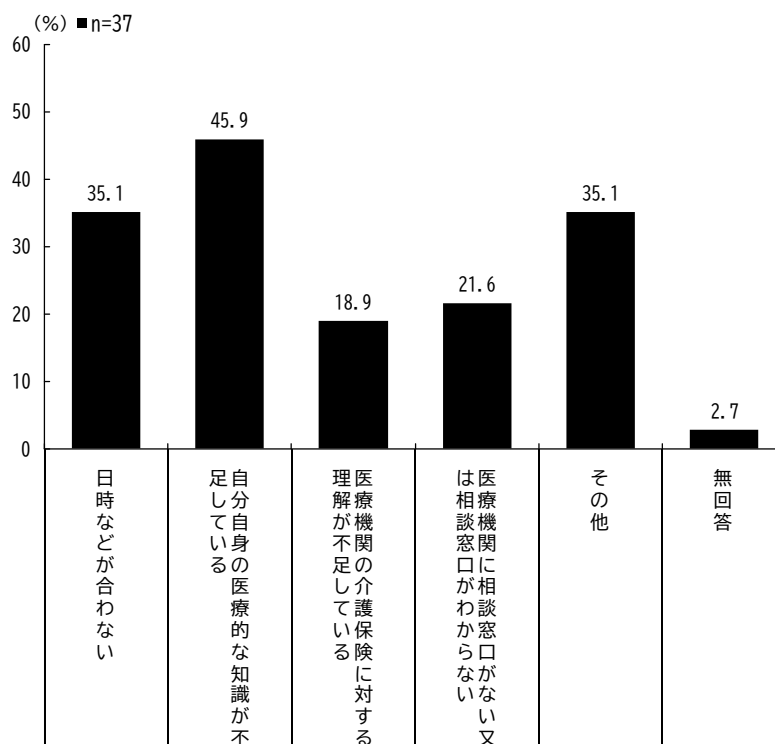
### 3. 医療との連携について

問8 主治医等の医療機関との連携はとっていますか(1つに○)



「だいたいとっている」と回答した人が 33.3%と最も多く、次いで「ほとんどとっている」が 24.0%、「必ず(全て)とっている」が 20.2%となっています。

問8-1 医療との連携がとれていない理由は何ですか。(○はいくつでも)  
(※問8で「あまりとっていない」「ほとんどとっていない」と回答した人)

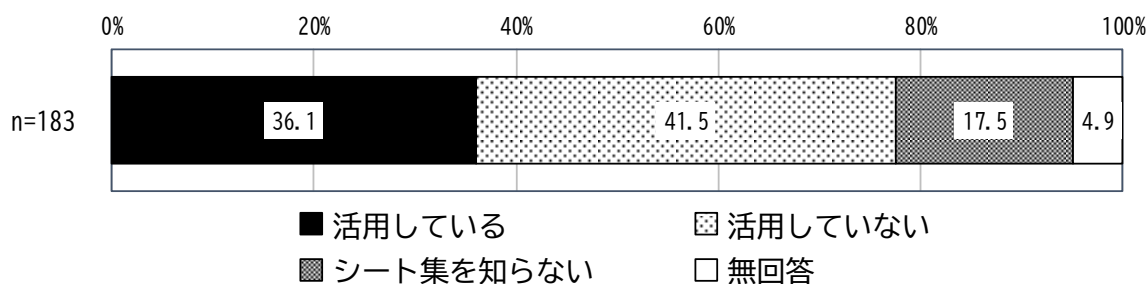


「自分自身の医療的な知識が不足している」と回答した人が 45.9%と最も多く、次いで「日時などが合わない」「その他」が 35.1%となっています。

問9 医療機関と連携がとれずに困った事例があれば教えてください。(自由回答)

- 介護認定時の主治医意見書作成や訪問看護指示書作成依頼時に時間がかかる等。  
主治医意見書の閲覧ができない。診療情報を依頼しても返信がいただけない。
- 居宅療養管理指導を算定するにもかかわらず、担当者会議への出席も断られたり、ケアプランの交付も必要ないと言われた。
- アセスメント上、必要性を感じないケースでも、訪問看護や訪問診療などセットのように指示が出る。

問10 医師会の医療機関連携情報シート集は活用していますか。(○は1つ)

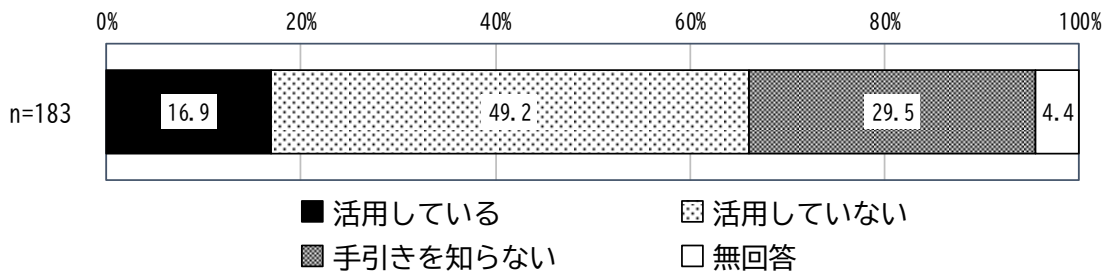


「活用していない」と回答した人が 41.5%と最も多く、次いで「活用している」が 36.1%、「シート集を知らない」が 17.5%となっています。

問10—1 医療機関との連携を円滑に進めるためには、どのような情報や仕組みが必要とお考えですか。(自由回答)  
(※問10で「活用している」と回答した人)

- 連携の必要性の理解や顔の見える関係作りが必要。
- 情報シートはお忙しい先生に質問するのに有効だと思います。今後も活用したいです。
- ほいっぷを活用されている医師が少ないので、多くの先生が活用してくださると、連携が取りやすい。
- 医療機関により定休日等がまちまちなので、相談タイムとは別に開業時間を入れて下さると活用しやすい。医療機関にも積極的に電子連絡帳「ほいっぷ」での連携に参加していただけるとありがたい。

問11 多職種連携の手引きは活用していますか。(○は1つ)

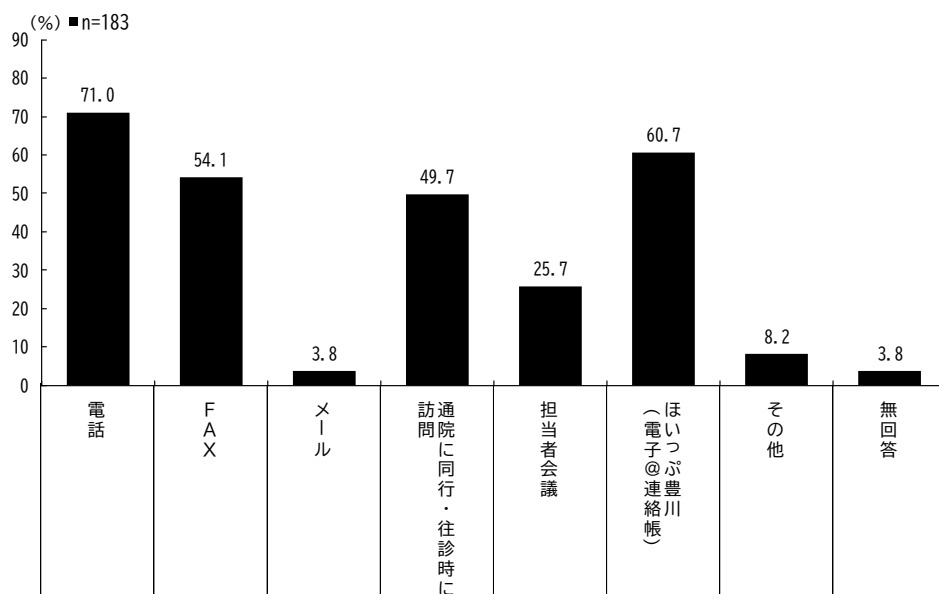


「活用していない」と回答した人が 49.2%と最も多く、次いで「手引きを知らない」が 29.5%、「活用している」が 16.9%となっています。

問11-1 多職種連携の手引きは加除式となっています。追加掲載したほうがよいという連携のルールや削除したほうがよいという連携のルールがありましたらご記入ください。(自由回答)  
(※問11で「活用している」と回答した人)

- 今回、市民 HP 認定 NS 同行訪問の件で、よくわからずにすすめたケースがあり、またほいっふにて確認しても、ケアマネが介入するののかもわからなかった。できれば詳しく説明して欲しい（市民 HP 認定 NS も言う事があいまいであった）
- 追加、修正、削除した際（変更）口頭で説明して頂けるとケアマネに伝わり易いと思う。
- 居宅介護支援事業所よりの連絡

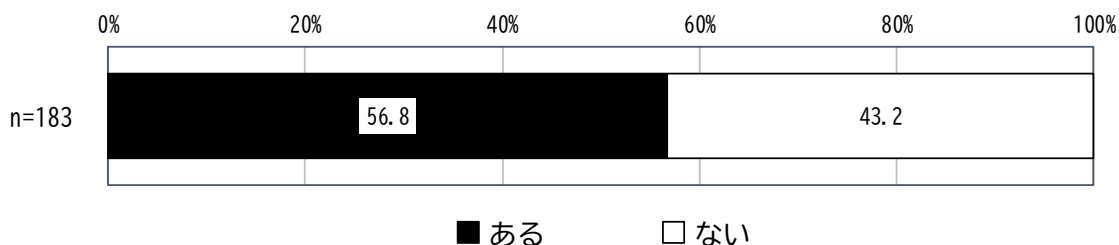
問12 医療機関との意見交換は、どのように行っていますか。(あてはまるものすべてに○)



「電話」と回答した人が 71.0%と最も多く、次いで「ほいっふ@豊川」が 60.7%、「FAX」が 54.1%となっています。

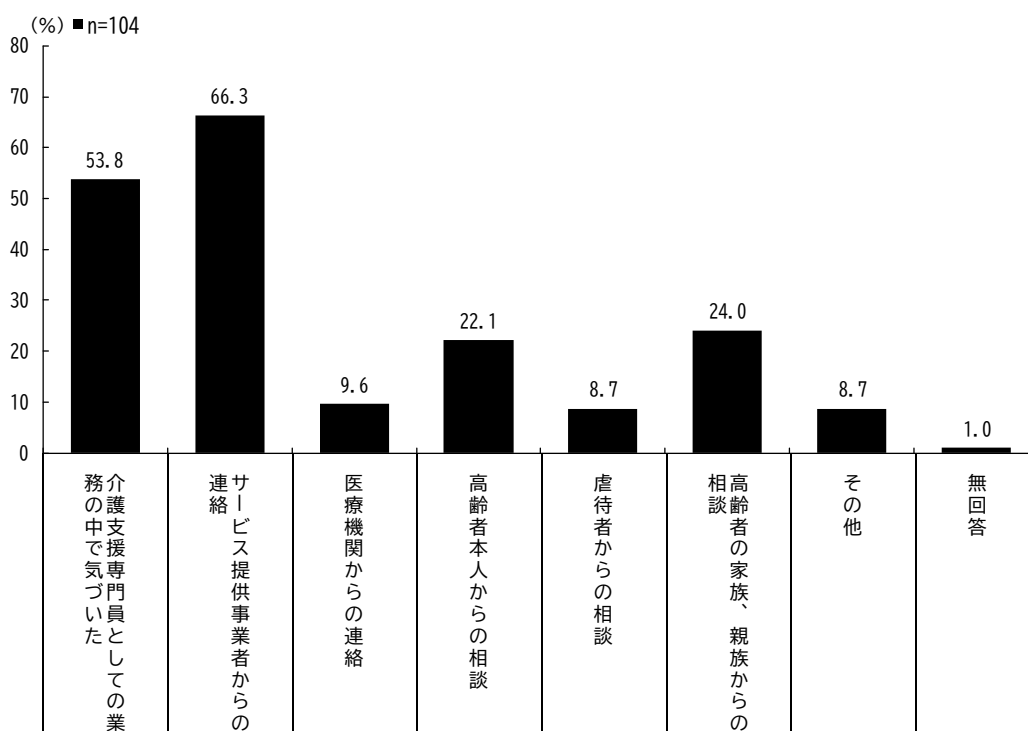
#### 4. 高齢者虐待について

問13 家庭内における高齢者虐待(疑いを含む。)の事例を経験(担当)したことがありますか。(○は1つ)



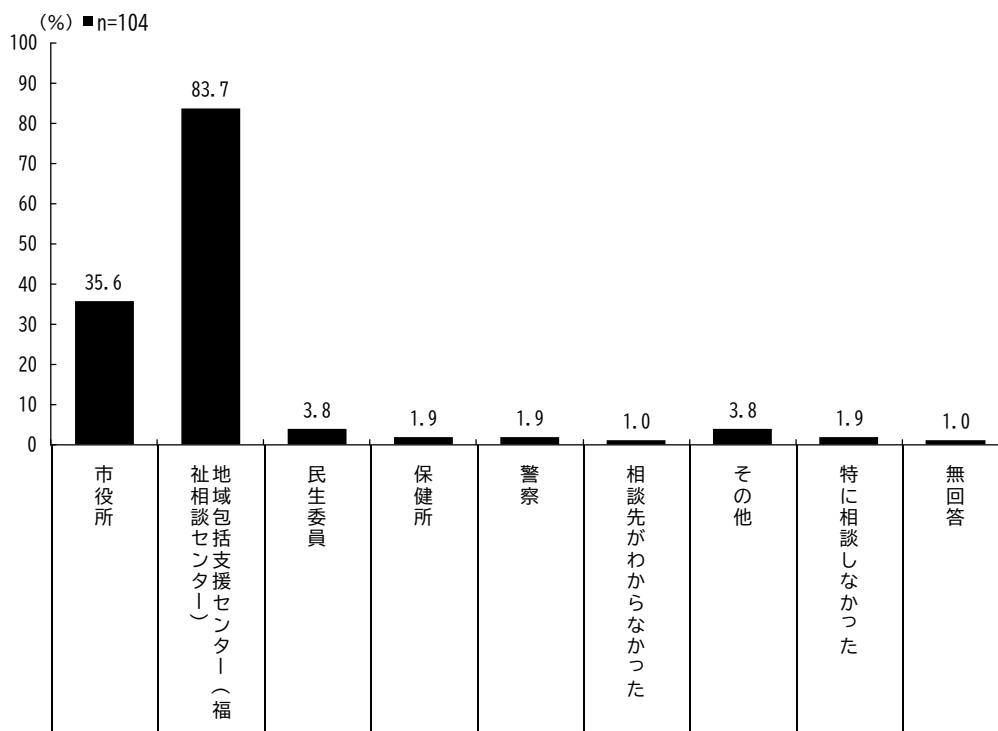
「ある」と回答した人が 56.8%、「ない」と回答した人が 43.2%となっています。

問13-1 高齢者虐待(疑いを含む。)の事実を知った経緯は何ですか。(○はいくつでも)  
(※問13で「ある」と回答した人)



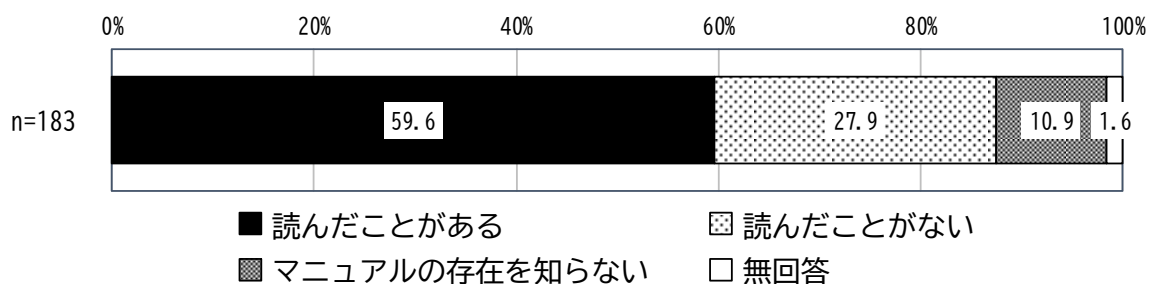
「サービス提供事業者からの連絡」と回答した人が 66.3%と最も多く、次いで「介護支援専門員としての業務の中で気づいた」が 53.8%、「高齢者の家族、親族からの相談」が 24.0%となっています。

問13-2 その時にどこへ相談しましたか。(〇はいくつでも)  
 (※問13で「ある」と回答した人)



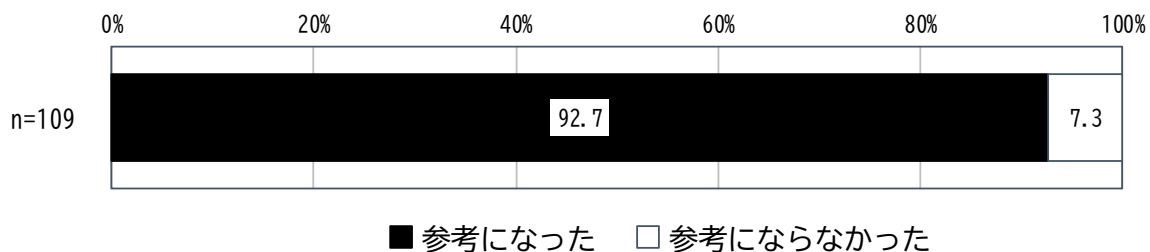
「地域包括支援センター」と回答した人が83.7%と最も多く、次いで「市役所」が35.6%となっています。

問14 愛知県高齢者虐待対応マニュアル(総論編・各論編)を読んだことがありますか。  
 (〇は1つ)



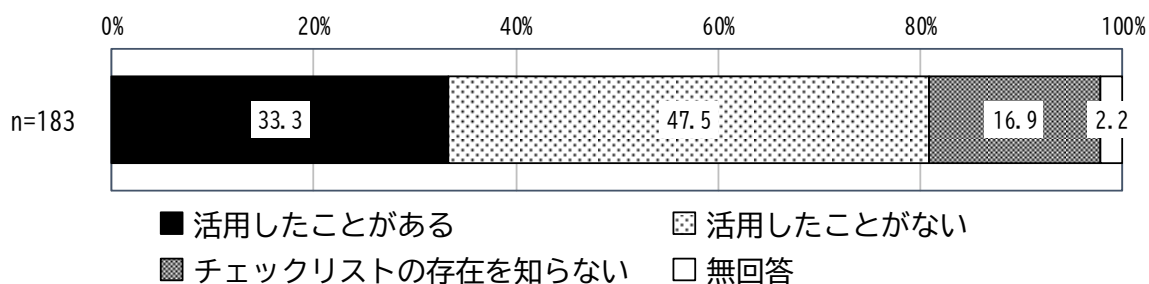
「読んだことがある」と回答した人が59.6%と最も多く、次いで「読んだことがない」が27.9%、「マニュアルの存在を知らない」が10.9%となっています。

問14-1 マニュアルは参考になりましたか。(○は1つ)  
 (※問9で「読んだことがある」と回答した人)



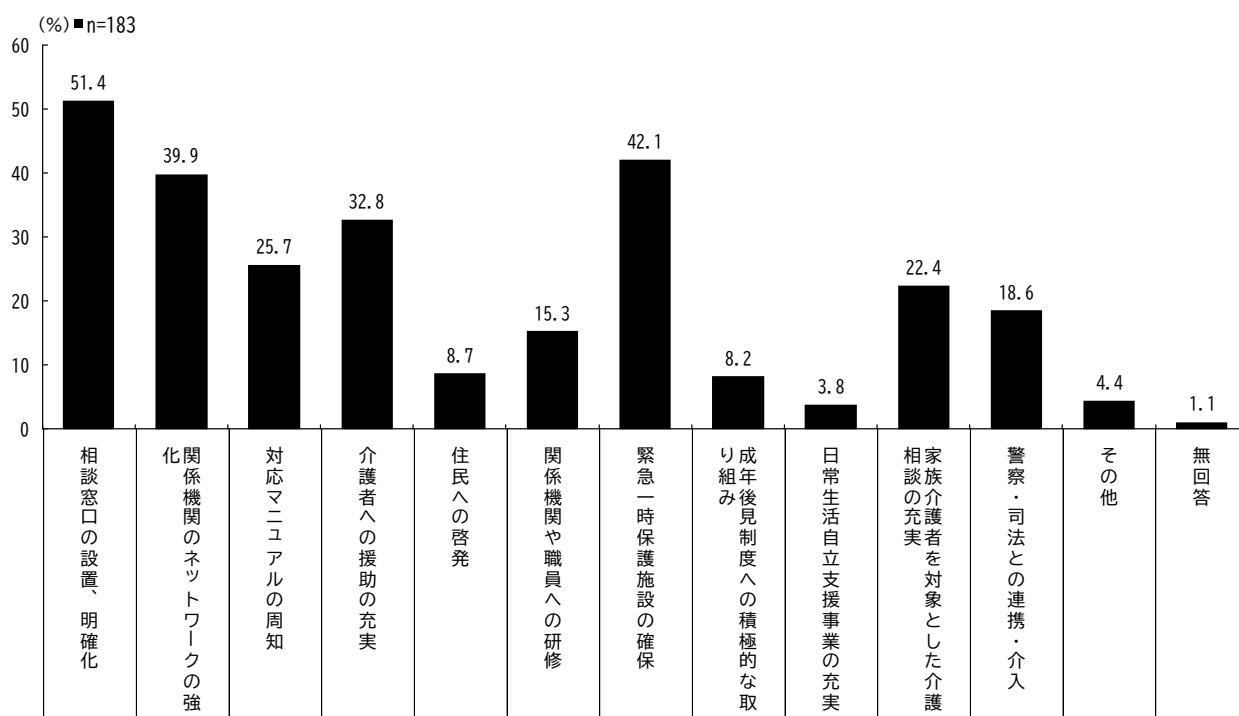
「参考になった」と回答した人が92.7%、「参考にならなかった」と回答した人が7.3%となっています。

問15 高齢者虐待のサインを感じた時、高齢者への虐待発見チェックリストを活用したことがありますか。(○は1つ)



「活用したことがない」と回答した人が47.5%と最も多く、次いで「活用したことがある」が33.3%、「チェックリストの存在を知らない」が16.9%となっています。

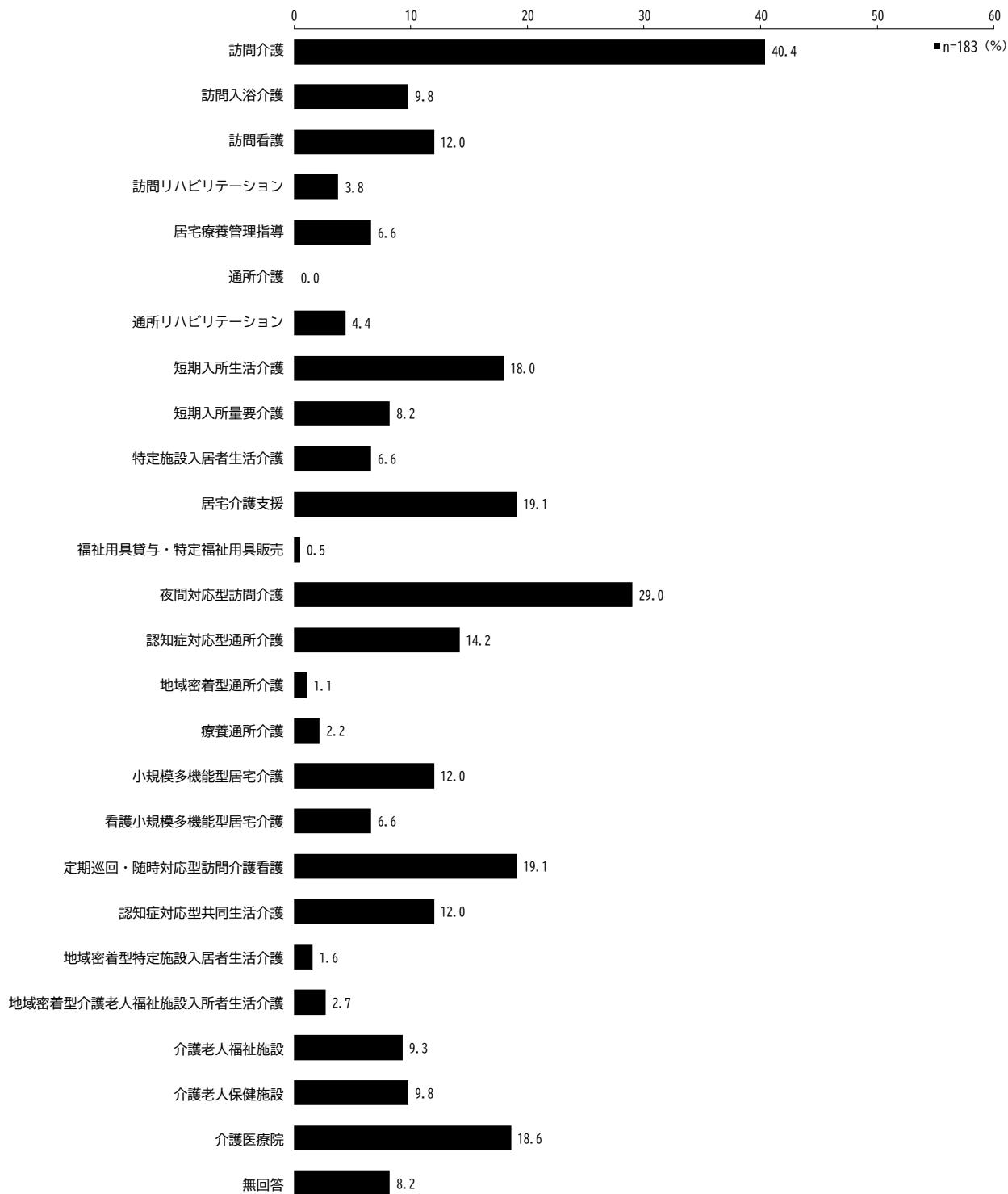
問16 高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。(〇は3つまで)



「相談窓口の設置、明確化」と回答した人が 51.4%と最も多く、次いで「緊急一時保護施設の確保」が 42.1%、「関係機関のネットワークの強化」が 39.9%となっています。

## 5. 介護保険及び高齢者福祉施策全般について

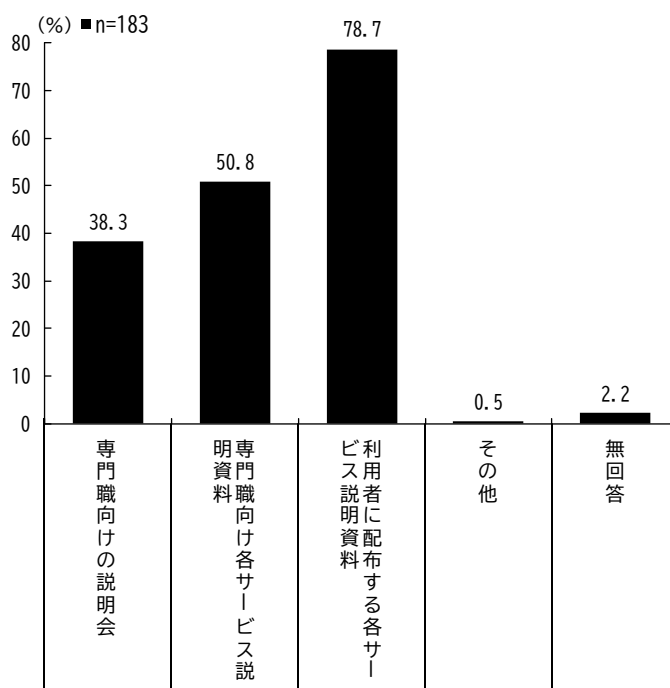
問17 豊川市の介護保険対象のサービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。(〇はいくつでも)



「訪問介護」と回答した人が40.4%と最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が29.0%、「居宅介護支援」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が19.1%となっています。



問18 豊川市では、平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を実施しています。実施している介護予防・生活支援サービス事業は下記のとおりです。要支援1・2、事業対象者の方に紹介する時に、どのようなツールがあると紹介しやすいですか。(〇はいくつでも)

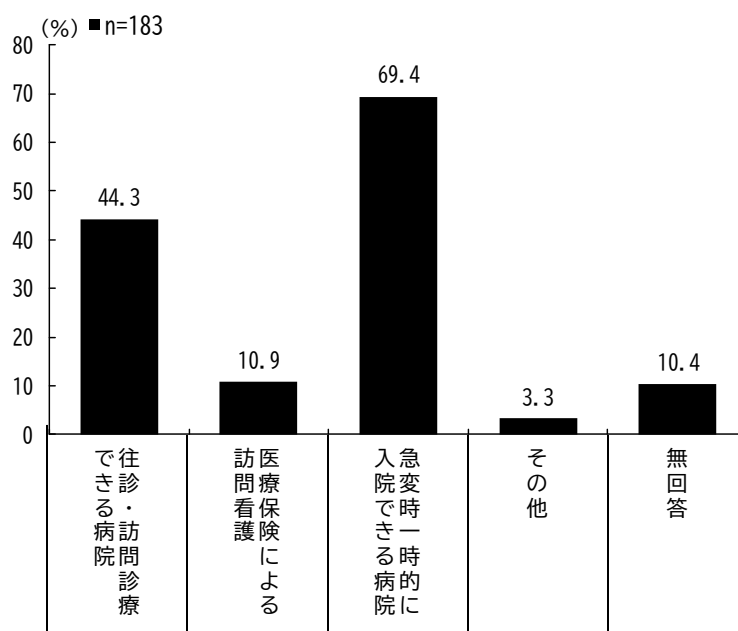


「利用者に配布する各サービス説明資料」と回答した人が78.7%と最も多く、次いで「専門職向け各サービス説明資料」が50.8%となっています。

問19 豊川市で実施している介護予防・生活支援サービスについて、これ以外に今後必要であると思われるサービスについて意見や提案がありましたら記入してください。(自由回答)

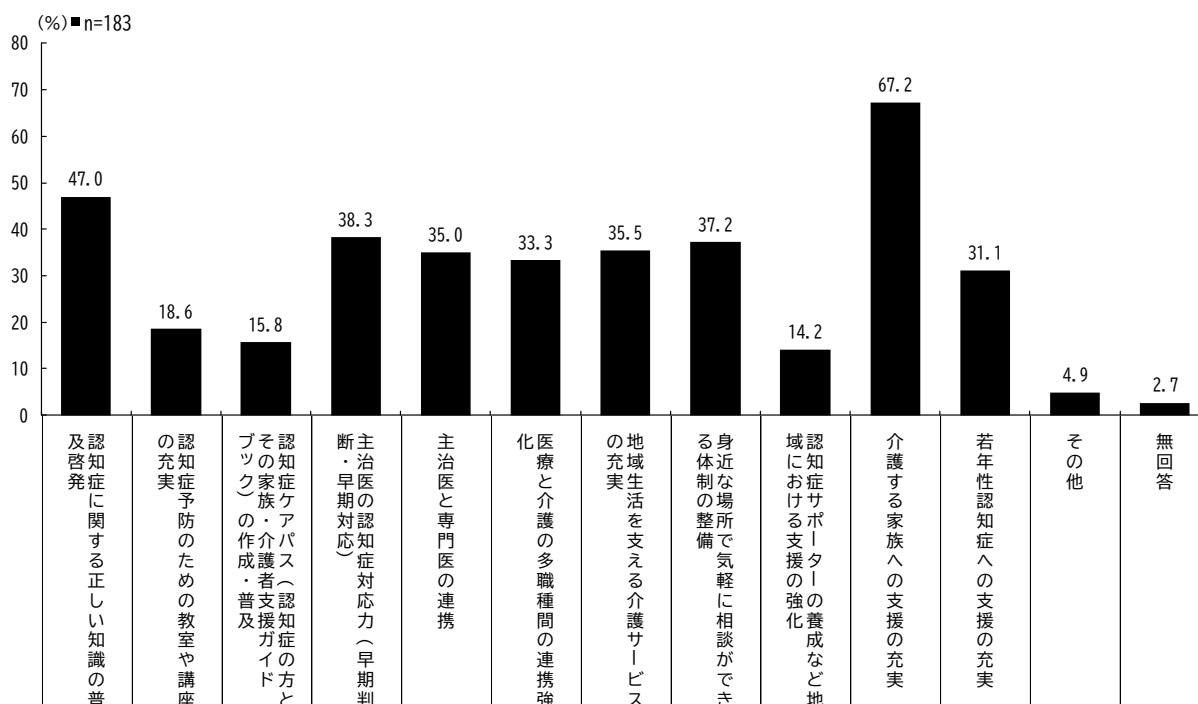
- デイサービスの増回を希望される方が多いです。要支援になるとデイサービス等の回数が制限されてしまうため社会参加の機会が減ってしまいます。  
コロナ禍ともありコミュニティが運営されなかったため孤立される方が多いと感じました。
- 有償ボランティアでの送迎サービス。
- 民生委員以外で、高齢者世帯見守り支援があれば良いと思います。例えば、真夏の在宅環境のチェック。特にエアコンの使用啓発と水分摂取の必要性の周知目的で、経口補水液の配布など。
- 介護が必要になる前の高齢者に介護を必要としない生活が続けられる介護予防支援。
- 高齢者の日中の居場所作りで、送迎があると参加しやすいと思います。

問20 豊川市の医療資源のサービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。(〇はいくつでも)



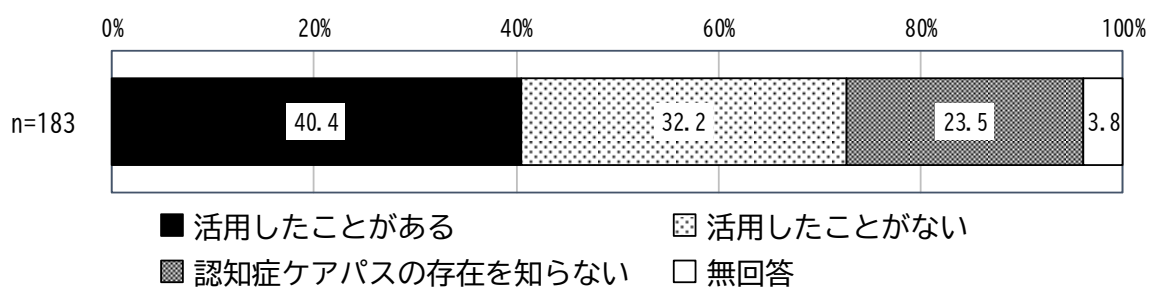
「急変時一時的に入院できる病院」と回答した人が69.4%と最も多く、次いで「往診・訪問診療できる病院」が44.3%、「医療保険による訪問看護」が10.9%となっています。

問21 認知症の方の地域生活を支援するために、必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに〇)



「介護する家族への支援の充実」と回答した人が67.2%と最も多く、次いで「認知症に関する正しい知識の普及啓発」が47.0%、「主治医の認知症対応力」が38.3%となっています。

問22 認知症ケアパス(認知症の方とその家族・介護者支援ガイドブック)を活用したことがありますか。(○は1つ)



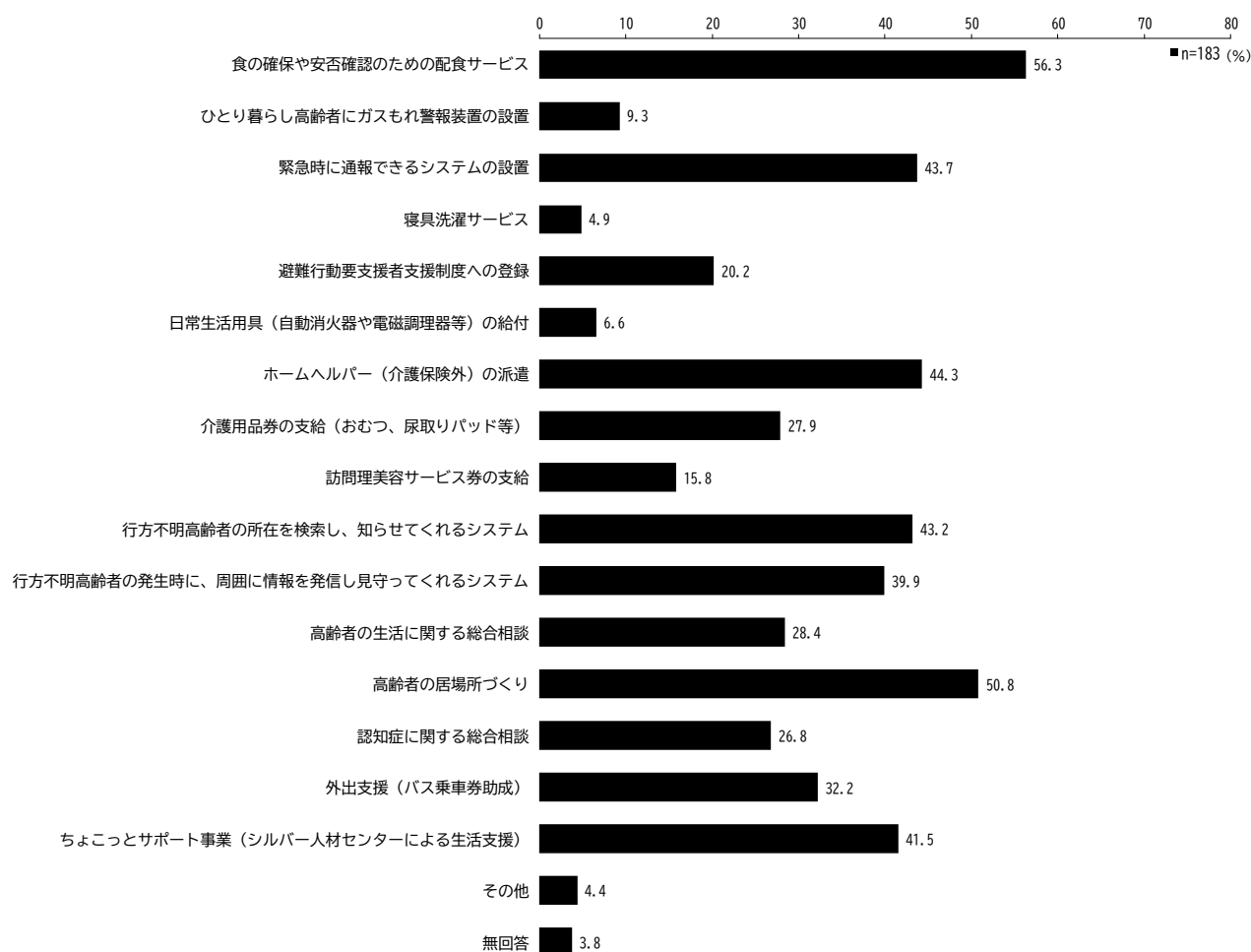
「活用したことがある」と回答した人が40.4%と最も多く、次いで「活用したことがない」が32.2%、「認知症ケアパスの存在を知らない」が23.5%となっています。

問22-1 活用するためには、どのような情報があれば良いか、意見などをお聞かせください。

(※問22で「活用したことがない」と回答した人)

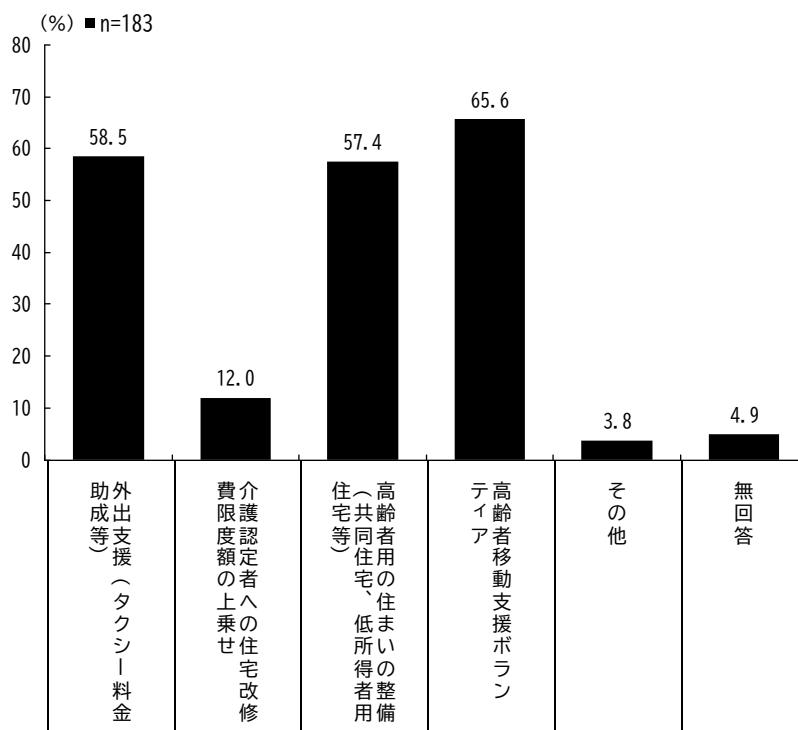
- 介護家族に配りながら使いたい但冊数がない。事業所でこれだけのページをカラーコピーする余裕はなく、かと言って窓口では貰い難いです。
- 豊川市内のケアマネに対して、年1回説明会を実施して欲しい。
- 具体的で活用する事で、解決策が分かる情報
- 診断された医療機関で直ぐにガイドブックが受け取れるようにする。

問23 市では、次のような高齢者福祉サービスを行っています。将来、必要性がより高まると思われるものはどれですか。(〇はいくつでも)



「食の確保や安否確認のための配食サービス」と回答した人が 56.3%と最も多く、次いで「高齢者の居場所づくり」が 50.8%、「ホームヘルパー(介護保険外)の派遣」が 44.3%となっています。

問24 あなたが、豊川市がまだ実施していない以下の施策について、必要性が高いと思うものはどれですか。(〇は3つまで)



「高齢者移動支援ボランティア」と回答した人が 65.6%と最も多く、次いで「外出支援」が 58.5%、「高齢者用の住まいの整備」が 57.4%となっています。

介護支援専門員アンケート

豊川市  
高齢者福祉に関する  
アンケート調査ご協力をお願い

日頃より、本市の福祉行政の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、令和6年度から6年間の「豊川市高齢者福祉計画」の改定に当たり、市内在勤の介護支援専門員（ケアマネジャー）のご意見を策定の基礎資料とすることを目的に実施するものです。

なお、お答えいただいた内容は、統計処理にのみ利用し、秘密の保持には万全を期していますので、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年7月

豊川市

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、介護支援専門員（ケアマネジャー）の立場でお答えください。
2. アンケートの中で、「現在」と書かれているものは、**令和5年7月1日現在**の状況でご記入ください。
3. 回答に選択肢がある場合には、あてはまる番号を○印で囲んでください。また、質問中の「その他」を選んだ方は、その内容を（ ）内に具体的にお書きください。
4. ご記入後は、3つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、**令和5年7月31日（月）**までにポストに投函してください。

インターネットによる回答について

・インターネットからご回答頂けます。2次元コードをスマートフォンなどで読み取って頂くか、下記の回答ページURLを入力してアクセスしてください。



URL 「<https://src.webcas.net/form/pub/src/23207k>」

- ・インターネットで回答する場合、**令和5年7月31日（月）**までにご回答ください。
- ・インターネットでご回答頂いた場合は、調査票を返送して頂く必要はありません。

■ご記入にあたって、不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

豊川市 福祉部 介護高齢課

電話：0533(89)2105(直) FAX：0533(89)2137



## 2 福祉相談センターについて

問6 あなたは、地域包括支援センター（福祉相談センター）に相談をしたことがありますか。（○は1つ）

- 1 ある ⇒問6-1へ                      2 ない ⇒問6-2へ

**次の問は、問6で「1 ある」と回答した人がお答えください。**

問6-1 どのような内容で相談をしましたか。（○はいくつでも）

- |                |                               |
|----------------|-------------------------------|
| 1 家族等介護者に関する相談 | 2 高齢者虐待事案の相談                  |
| 3 権利擁護（成年後見など） | 4 市の高齢者福祉サービス                 |
| 5 民生委員など地域との連携 | 6 ケアプラン作成(暫定利用含)              |
| 7 介護保険の利用      | 8 その他（                      ） |

**次の問は、問6で「2 ない」と回答した人がお答えください。**

問6-2 相談しないのはなぜですか。（○は3つまで）

- |                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 1 相談する時間がない      | 2 日ごろから連携していない                |
| 3 相談してよい内容かわからない | 4 相談しても解決しないと思う               |
| 5 センターの職員が忙しそう   | 6 顔が見えず敷居が高く、相談しづらい           |
| 7 特に相談することがない    | 8 その他（                      ） |

問7 地域包括支援センター（福祉相談センター）に、特に期待することはどのようなことですか。（○は3つまで）

- |  |                    |
|--|--------------------|
| 1 介護予防ケアマネジメントを通じた介護予防                         | 2 介護予防事業の普及・啓発     |
| 3 ケアマネジャーに対する個別支援・相談                           | 4 処遇困難ケースへの個別支援・相談 |
| 5 地域におけるケアマネジャーのネットワークづくり                      |                    |
| 6 認知症地域支援専門員による認知症支援                           |                    |
| 7 多職種(保健師・社会福祉士・ケアマネ)協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援 |                    |
| 8 公的なサービスと地域活動の組み合わせなど、多様な社会資源の活用支援            |                    |
| 9 地域の総合相談窓口                                    |                    |
| 10 要介護高齢者の早期発見と対応                              |                    |
| 11 高齢者の虐待防止・権利擁護事業の周知・啓発                       |                    |
| 12 その他（                      ）                 |                    |
| 13 特になし  |                    |



### 3 医療との連携について

問8 主治医等の医療機関との連携はとっていますか（1つに○）

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 必ず（全て）とっている⇒問9へ  | 2 ほとんどとっている⇒問9へ   |
| 3 だいたいとっている ⇒問9へ   | 4 あまりとっていない⇒問8-1へ |
| 5 ほとんどとっていない⇒問8-1へ |                   |

次の問は、問8で「4あまりとっていない」「5ほとんどとっていない」と回答した人がお答えください。

問8-1 医療機関との連携がとれていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- |                            |
|----------------------------|
| 1 日時などが合わない                |
| 2 自分自身の医療的な知識が不足している       |
| 3 医療機関の介護保険に対する理解が不足している   |
| 4 医療機関に相談窓口がない又は相談窓口がわからない |
| 5 その他（具体的に： _____）         |

問9 医療機関と連携がとれずに困った事例があれば教えてください（自由回答）

医療機関名：

具体的な事例：


問10 医師会の医療機関連携情報シート集は活用していますか。

（○は1つ）

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1 活用している    | ⇒問10-1へ |
| 2 活用していない   | } ⇒問11へ |
| 3 シート集を知らない |         |

**次の問は、問10で「1 活用している」と回答した人がお答えください。**

問10-1 医療機関との連携を円滑に進めるためには、どのような情報や仕組みが必要とお考えですか。(自由回答)


問11 多職種連携の手引きは活用していますか。(〇は1つ)

- |            |         |
|------------|---------|
| 1 活用している   | ⇒問11-1へ |
| 2 活用していない  | }⇒問12へ  |
| 3 手引きを知らない |         |

**次の問は、問11で「1 活用している」と回答した人がお答えください。**

問11-1 多職種連携の手引きは加除式となっています。追加掲載したほうがよいという連携のルールや削除したほうがよいという連携のルールがありましたらご記入ください。(自由回答)


問12 医療機関との意見交換は、どのように行っていますか。(あてはまるものにすべて〇)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1 電話          | 2 FAX             |
| 3 メール         | 4 通院に同行・往診時に訪問    |
| 5 担当者会議       | 6 ほいっぶ豊川 (電子@連絡帳) |
| 7 その他 (具体的に : | )                 |



問15 高齢者虐待のサインを感じた時、高齢者への虐待発見チェックリストを活用したことがありますか。(〇は1つ)

- 1 活用したことがある
- 2 活用したことがない
- 3 チェックリストの存在を知らない

問16 高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。(〇は3つまで)

- 1 相談窓口の設置、明確化
- 2 関係機関のネットワークの強化
- 3 対応マニュアルの周知
- 4 介護者への援助の充実
- 5 住民への啓発
- 6 関係機関や職員への研修
- 7 緊急一時保護施設の確保
- 8 成年後見制度への積極的な取り組み
- 9 日常生活自立支援事業の充実
- 10 家族介護者を対象とした介護相談の充実
- 11 警察・司法との連携・介入
- 12 その他( )

## 5 介護保険及び高齢者福祉施策全般について

問17 豊川市の介護保険対象のサービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 訪問介護
- 2 訪問入浴介護
- 3 訪問看護
- 4 訪問リハビリテーション
- 5 居宅療養管理指導
- 6 通所介護
- 7 通所リハビリテーション
- 8 短期入所生活介護
- 9 短期入所療養介護
- 10 特定施設入居者生活介護
- 11 居宅介護支援
- 12 福祉用具貸与・特定福祉用具販売
- 13 夜間対応型訪問介護
- 14 認知症対応型通所介護
- 15 地域密着型通所介護
- 16 療養通所介護
- 17 小規模多機能型居宅介護
- 18 看護小規模多機能型居宅介護
- 19 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 20 認知症対応型共同生活介護
- 21 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 22 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- 23 介護老人福祉施設
- 24 介護老人保健施設
- 25 介護医療院

問18 豊川市では、平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を実施しています。実施している介護予防・生活支援サービス事業は下記のとおりです。要支援1・2、事業対象者の方に紹介する時に、どのようなツールがあると紹介しやすいですか。(〇はいくつでも)

1	専門職向けの説明会
2	専門職向け各サービス説明資料
3	利用者に配布する各サービス説明資料
4	その他(

◎豊川市で実施している介護予防・生活支援サービス

訪問型サービス	介護予防訪問サービス (現行相当のサービス)	既存の訪問介護事業所による身体介護や生活援助
	広域型訪問サービス	既存の訪問介護事業所による掃除・洗濯等の生活援助
	地域型訪問サービス	豊川市シルバー人材センターによる掃除・洗濯等の生活援助
	短期集中訪問サービス	市の保健・医療の専門職による居宅での相談・指導等
	移動支援訪問サービス	地域型通所サービス利用時の送迎
通所型サービス	介護予防通所サービス (現行相当のサービス)	既存のデイサービスセンターでの機能訓練や入浴・食事の介護等
	広域型通所サービス	デイサービスセンター等での健康維持や認知症予防のための機能訓練やレクリエーション
	地域型通所サービス	趣味活動を通じた日中の居場所づくり等の支援
	短期集中通所サービス	生活機能を改善するための運動器の機能向上等の短期集中プログラム
その他	生活支援ボランティアによる高齢者の支援	ボランティアによる高齢者への訪問による生活支援
	介護予防ケアマネジメント	地域包括支援センターによるアセスメントとケアプランの作成

問19 豊川市で実施している介護予防・生活支援サービスについて、これ以外に今後必要であると思われるサービスについて意見や提案がありましたら記入してください。(自由回答)

サービスに対する意見・提案


問20 豊川市の医療資源のサービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。(〇はいくつでも)

1 往診・訪問診療できる病院	2 医療保険による訪問看護
3 急変時一時的に入院できる病院	4 その他( )

問21 認知症の方の地域生活を支援するために、必要なことは何だと思えますか。(あてはまるものすべてに〇)

1 認知症に関する正しい知識の普及啓発
2 認知症予防のための教室や講座の充実
3 認知症ケアパス(認知症の方とその家族・介護者支援ガイドブック)の作成・普及
4 主治医の認知症対応力(早期判断・早期対応)
5 主治医と専門医の連携
6 医療と介護の多職種間の連携強化
7 地域生活を支える介護サービスの充実
8 身近な場所で気軽に相談ができる体制の整備
9 認知症サポーターの養成など地域における支援の強化
10 介護する家族への支援の充実
11 若年性認知症への支援の充実
12 その他(具体的に: )

問22 認知症ケアパス(認知症の方とその家族・介護者支援ガイドブック)を活用したことがありますか。(〇は1つ)

1 活用したことがある
2 活用したことがない ⇒問22-1へ
3 認知症ケアパスの存在を知らない

**次の問は、問22で「2 活用したことがない」と回答した人がお答えください。**

問22-1 活用するためには、どのような情報があれば良いか、意見などをお聞かせください。

活用に関する意見・提案


問23 市では、次のような高齢者福祉サービスを行っています。将来、必要性がより高まると思われるものはどれですか。(〇はいくつでも)

- 1 食の確保や安否確認のための配食サービス
- 2 ひとり暮らし高齢者にガスもれ警報装置の設置
- 3 緊急時に通報できるシステムの設置
- 4 寝具洗濯サービス
- 5 避難行動要支援者支援制度への登録
- 6 日常生活用具（自動消火器や電磁調理器等）の給付
- 7 ホームヘルパー（介護保険外）の派遣
- 8 介護用品券の支給（おむつ、尿取りパッド等）
- 9 訪問理美容サービス券の支給
- 10 行方不明高齢者の所在を検索し、知らせてくれるシステム
- 11 行方不明高齢者の発生時に、周囲に情報を発信し見守ってくれるシステム
- 12 高齢者の生活に関する総合相談
- 13 高齢者の居場所づくり
- 14 認知症に関する総合相談
- 15 外出支援（バス乗車券助成）
- 16 ちょこっとサポート事業（シルバー人材センターによる生活支援）
- 17 その他（ )

問24 あなたが、豊川市がまだ実施していない以下の施策について、必要性が高いと思うものはどれですか。(〇は3つまで)

- 1 外出支援（タクシー料金助成等）
- 2 介護認定者への住宅改修費限度額の上乗せ
- 3 高齢者用の住まいの整備（共同住宅、低所得者用住宅等）
- 4 高齢者移動支援ボランティア
- 5 その他（ )



